

タイアツッ! Vol.3



現場を変えろ。
体圧が

ぜひ、実際に使ってみてSRソフトビジョンの良さをご体感ください。

SRソフトビジョン™ 無料体験のご案内

素材感を
知りたい

本当に
簡単に
使えるの?

うちの
パソコンにも
接続できる?

●選べる2つの無料体験

数値版・数値版ワイヤレス・半身版・全身版・足圧版すべてのラインナップに対応!

デモ機 + ご説明

どの商品が最適か相談の上、
デモ機を持って訪問、若しくは
WEB面談にて商品の機能・
使い方の説明をさせていただきます。

デモ機 2weeks貸出

お電話、WEB面談、メール
でご希望の商品と利用環境
をお伺いした後、デモ機を
お届けしています。
2週間、無料で試用していただ
くことができます。

●お申し込みはTELまたはHPから

フコク物産株式会社 **TEL.03-3765-3228**

機能品営業部

HPからのお問合せ:

<https://fukoku-jp.net/srsoftvision/contact>

※E-mailでのお申し込み・ご相談も受け付けております。kikaku@fukoku-bussan.jp

SRソフトビジョンについて、さらに詳しくご覧いただくには
【SRソフトビジョン】ホームページへアクセス



製品の特長や仕様、使い方などを詳しくご紹介。
無料体験に関するお問合せもホームページで。

SRソフトビジョン

検索

<https://www.sumitomoriko.co.jp/product/health/srv/>



※SRソフトビジョン、SRロゴ及びSmart Rubberは住友理工株式会社の商標または登録商標です。

お買い求め
ご相談は **フコク物産株式会社**

〒143-8531 東京都大田区大森西2丁目32番7号
機能品営業部 Tel:03-3765-3228
<https://fukoku-jp.net/srsoftvision/>

製造元 **住友理工株式会社**

健康介護事業室 Tel:0568-77-2975
<https://www.sumitomoriko.co.jp/product/health/>

この冊子に記載している内容は予告なく変更される場合があります。
2023/4 ver.03

MEDICAL REPORT

シーティングを取り巻く環境が
変わり始めた

一般財団法人
日本車椅子シーティング財団

代表理事 **廣瀬 秀行**



USER REPORT

シーティングの疾患別
リハビリテーション料が算定可能となり
現場の意識が変わった。

筑波大学附属病院

体圧測定で多職種連携が進み
「おいしく食べていただく」が実現

介護老人福祉施設 松風

住友理工株式会社

※掲載されている方々の氏名、所属、施設名は
本誌の作成時(2018年9月)の情報です。

シーティングを取り巻く

環境が変わり始めた

一般財団法人日本車椅子シーティング財団 代表理事

廣瀬 秀行

HIDEYUKI HIROSE

廣瀬 秀行

日本保健医療大学保健医療学部理学療法学科教授、博士(工学)、理学療法士。国立障害者リハビリテーションセンター病院シーティングクリニックでの臨床経験をjて、2013年に厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室の室長補佐に就任。2016年より一般財団法人日本車椅子シーティング財団の代表理事。



車いす利用者の「生活の質」を上げる シーティング

介護が必要な人や患者の座り姿勢を適正に保つシーティング。私は、シーティングには大きく二つの意義があると考えています。一つは、車いすですらすらの「生活の質」を上げること。日常的に折りたたみの車いすを使って移動や食事をしている人は、16時間近くも車いすのシートに座っています。健常者の場合は臀部の筋肉がクッション代わりにしてくれるのですが、障害者や高齢者は筋肉が衰えているため、シートに骨が当たってしまい、それが不快感、痛み、そして褥瘡の原因になります。痛いからもぞもぞする、もぞもぞしているうちに車いすからずり落ちてしまう。これがケガや身体拘束へとつながる恐れがあります。ですが、クッションを含むシーティングによって痛みが出ない座り姿勢を保つことができれば、ケガなどのリスクを抑えながら、快適な車いす生活につながられます。

もう一つが、「寝たきり」からベッドから離れられる「座って過ごす」生活への移行が可能になります。このとき、大きな課題となるのが褥瘡です。褥瘡は、服や下着によって隠れている部分にできやすいため、スタッフがケアしにくい特性があります。ですから、車いす生活によって褥瘡ができると

「やっぱりベッドに戻ってらおう」となり、再び寝たきり生活へと逆戻り。筋力の低下や認知症の進行という悪循環に陥りかねません。そうならないために、シーティングが重要なのです。

なぜ体圧測定が必要なのか

褥瘡には、①圧迫、②時間、③身体状態の三つの要素が関わっています。①圧迫とは、血流を止めてしまうような体への圧力です。②時間とは、圧迫し続ける時間、③身体状態とは、栄養状態が思わしくない、あるいは失禁によって皮膚が濡れて柔らかくなっているといった身体状況のことです。このうち、最も重要となるのが①の圧迫。圧迫が起こらなければそもそも褥瘡は起きません。つまり、圧迫をいかに取り除くかが、シーティングのポイントになるのです。

高齢者はやせているから、体重による圧迫も少ないのでは？と思うかもしれませんが、圧迫の強さは、それを受ける体の面積と関係します。例えば円背の方の場合は、背中の中の出っ張った部分に集中して体重が寄りかかるので、やせていても出っ張った部分への圧迫は強くなります。

圧迫は、外から見ただけでは分からないところで起こっています。だからこそ、車いすのどこに体の部位が当たり、強

い圧迫を受けているかを探し出す必要があります。そこで必要となるのが体圧測定。感覚では表しきれない圧迫の状況が数字でわかりますし、その数字を理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、医師、看護師といったさまざまな職種が共有することで、クッションの種類や入れ方、除圧方法などをチームでチェックしていくことができます。

シーティングの価値が認められ 診療報酬算定可能に

従来リハビリは「立って歩くこと」に重点が置かれていたため、「車いすで過ごす」という視点にほとんどスポットが当たっていませんでした。そのためか、シーティングは、診療時間外で行うなど、診療報酬を算定するものとして捉えられていませんでした。

シーティング財団(一般財団法人日本車椅子シーティング財団)は、この状況を変えるため、シーティング議連(シーティングで自立支援と介護軽減を実現する議員連盟)とともに、厚生労働省に対し、働きかけを続けてきました。

その結果、2017年7月、厚生労働省より診療報酬について疑義解釈資料が公表され、姿勢保持や褥瘡予防のためにクッションなどの選定や調整を行う、いわゆるシーティングを実施した場合、診療報酬に組み込んでよいという見解が示されました。

リハビリを受ける人の中には、残りの生涯を車いすで生活する人も大勢います。また、寝たきりの人が車いすに長時間座ってられるようになれば、立って歩けなくても、食事や外出ができるようになるなど、その人の生活が豊かになります。今回、厚生労働省から出された見解は、立って歩くことだけがすべてではない、車いすで快適に過ごせることも重要だ、ということに目が向けられる大きな一歩になると考えています。

教育の場に 体圧測定が組み込まれる

もう一つ、シーティングや褥瘡予防に関して大きな変化がありました。理学療法士養成施設のカリキュラム改定により、体圧測定器が「教育に必要な備品」に認定されたことです。この改訂は、前述の「シーティングの保険算定可能」とも関連しており、保険算定に関わる機器を学生時代からしっかり理解できるようにすべき、という流れの一環だと考えています。

教員自身が褥瘡をよく知らないなど、いくつかの課題があります。ですが、シーティングや褥瘡予防が教育プログラムの中に位置づけられ、体圧という「見えないもの」が、測定器によって「見えるもの」に変わること、PTの卵たちが、褥瘡と体圧の関係を理解しやすくなります。また、養成校であらかじめ体圧測定器の有用性を体験した人材が現場に出ること、「褥瘡予防は理学療法士・作業療法士の重要な業務の一つである」と考えるとと思います。

何より、シーティングや褥瘡予防を実践できるPT、OTとして、現場で存在感を放てるのではないのでしょうか。

今後への期待

リハビリの業務時間内でのシーティングができるようになり、スタートラインに立てるようになりました。また、リハ専門職教育も始まりました。

適切なシーティングによって、寝たきり患者を減らし、入院日数を削減できたり、褥瘡が改善できたりするというエビデンスが積み重なれば、シーティングはもっと広がっていくと思います。





シーティングの疾患別リハビリテーション料が算定可能となり 現場の意識が変わった。



イメージ写真です



イメージ写真です

医師がシーティングに 取り組む意義

渡邊さんや岡本さんだけでなく、リハビリ専門医の清水如代さんも体圧測定を重視しています。「当院のような急性期病院では、さまざまな担当科の依頼に応じてリハビリを処方しています。例えば、脊髄損傷の患者さんの場合、担当の整形外科からリハビリの依頼があるのですが、褥瘡患者さんを見ていると、生活期の支援が進んでいなかったり、医療者が関わった状態でシーティングがなされていないことが原因の一つになっているのではないか、と思います」

在宅での暮らしや退院後のリハビリ生活を支えるためにも、急性期病院でシーティングを含めた「自宅に戻るために必要なリハビリ」をしっかり行うことが必要だと清水さん。しかも、多職種はもちろん、転院後の病院などとも連携したチームでの取り組みが重要だと強調します。

「医師の私だけが関わるのではなく、OTやPTとともに患者さんを中心としたチームを組むことが大切。私はリハビリや装具・車いすの処方を、OTやPTは日常生活につながる動作や身体機能の訓練を担っていますが、お互いに相談しながら進めることで、それぞれの得意分野を患者さんのために生かすことができます」

身体状況の変化に合わせて体圧を測定 クッションや車いすを調整する

チームでの取り組みが大切という清水さんの言葉通り、リハビリテーション室では、渡邊さん、岡本さんなどのリハビリスタッフや、医師である清水さんといっしょに、SRソフトビジョンの画像を見ながら患者さんの座位姿勢を評価しています。特に患者さんが離床のタイミングを迎えたときは、体圧を測定するようにし、主治医を交えた離床の判断材料にも使っていると渡邊さんは話します。「シーティングをしてクッションの空気圧を調整したり、車いすの背もたれ角度を変更したりするときに体圧を測定しています。毎日ではありませんが、頻繁にSRソフトビジョンを使っています」

一方、岡本さんは、緊張の強い患者さんに対し、SRソフトビジョンを使った体圧測定を行っています。「こうした患者さんの場合、治療によって、体の様子が刻々と変わっていきます。例えば、緊張を緩和する薬を投与されたあとは、体の力が緩むので、車いすに当たる体の部分や圧が異なってきます。アライメントを見るだけでは不十分なのですが、体圧測定によって変化を数字で把握することで、そのときの状態に合わせた車いす調整ができます」

日常的に体圧測定を行う

日本最大級の研究学園都市、つくば市。その中心部にあるのが筑波大学附属病院です。800床の大病院だけあって、リハビリテーション室にもたくさんの患者さんが訪れています。

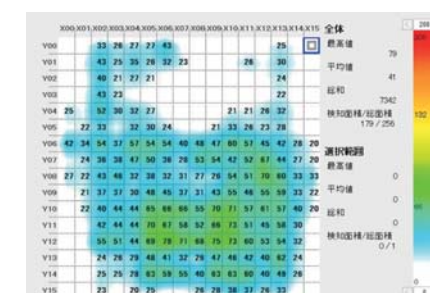
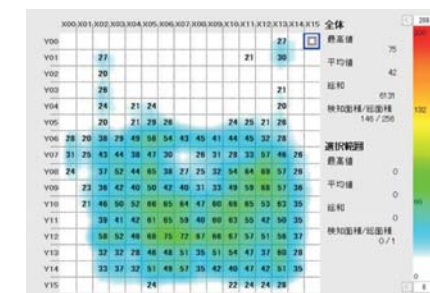
ここでシーティングに積極的に取り組んでいるのが、作業療法士の渡邊久仁子さん。2017年にSRソフトビジョンを導入し、リハビリテーション室内だけでなく、病棟の患者さんにも使用しています。

渡邊さんは、卒業後に勤務した病院がシーティングに関する取り組みを始めたことや、シーティング・コンサルタント協会の研修などに参加したことがきっかけで、シーティングに興味を持つようになったそうです。体圧測定器については、高価なものというイメージが強かったのですが、国際福祉機器展でSRソフトビジョンと出会い、「リーズナブルな価格で、ここまで細かく体圧が分かるならぜひ導入したい」と思ったそうです。

渡邊さんと同じく、SRソフトビジョンの有用性を実感しているのが、理学療法士の岡本善敬さんです。「以前は自分の手で体圧を計っていたのですが、SRソフトビジョンで測定するようになって以来、思わぬところに圧がかかっていることが分かり、新たな気づきを得ています」と話します。



イメージ写真です



頸椎損傷で褥瘡の皮弁手術を行った患者様です。手術前に普段の車椅子の姿勢(上)、仕事時の車椅子の姿勢(下)を測定しました。術後のシーティングの参考にします。

算定可能後、 リハビリテーション室内に静かな変化

リハビリテーション室では現在、リハビリの中で行うシーティングを診療報酬として算定しています。「これまでもリハビリ内でシーティングを行っていたのですが、診療報酬に算定できるようになって、より取り組みやすくなりました」と渡邊さん。また、周囲のリハビリスタッフがシーティングに意識を向けるようになったと言います。

「専門雑誌などでシーティングの診療報酬算定可能の件が取り上げられているのを見て、特に若いOTが興味を持ち、患者さんの座位姿勢をどう改善すればいいのかなどのお話合いができるようになりました。シーティングの勉強会を開いてほしいという要望も出ています」

岡本さんは「算定可能になる前と後とで、やっていることは特に大きく変わったことはない」としながら、「リハビリでSRソフトビジョンを使うようになって、体圧を手で計るときにフィードバックが得られるようになりました」と言います。「手で体圧を感じると同時に、目で体圧の数値を確認することで『このくらいの圧ならこの数値』というのが経験的に分かってくるんです。そういう意味では、OTやPTのスキルアップにも役立ちますね」



リハビリテーション室の皆さん



PT:岡本善敬さん(左)、リハビリDr.清水加代さん(中央)、OT:渡邊久仁子さん

多職種と協力すれば、 体圧測定の結果をもっと広げられる

日々のリハビリを担いながら、褥瘡に対するリハビリの研究にも取り組んでいる渡邊さん。「リハビリスタッフがシーティングやポジショニングを行うことで、褥瘡のリスクを減らせるだけでなく、呼吸がラクになったり、筋緊張が緩まったりという成果も得られます。それを実現するのに、体圧を数字で把握できるSRソフトビジョンのような機器があると助かります」

また、リハビリスタッフ以外の職種と協力することで、体圧測定やシーティングを広げていけるとも話します。「病棟で患者さんの体圧測定をしていると、看護師さんが興味を持って集まってくるんです。SRソフトビジョンは体圧が画面上に表示されるので、看護師さんにとっても一目瞭然。看護部門が体圧測定の重要性を認めてくれることで、SRソフトビジョンの購入許可がスムーズに下りることもあります」

清水さんは医師の立場から、患者さんへのフィードバック効果が期待できるのがSRソフトビジョンの良さだと言います。「測定結果が患者さんにも分かりやすいので、座位姿勢のときどこに気をつければいいのか、患者さん自身が意識できます」。下肢に感覚障害がある患者さんにとっても、体圧が視覚化されていると分かりやすいと言います。

「シーティングは患者さんにとって大切なこと。今回、診療報酬の中でシーティングが算定可能となったのは、もともと大切なことが公に認められたという証ではないでしょうか」と清水さん。シーティングを含め、急性期病院としてできうる限りのリハビリを行い、患者さんのモチベーションを支えたいと意欲を燃やしています。

体圧測定で多職種連携が進み「おいしく食べていただく」が実現



入居時に体圧を測定

諏訪湖を一望できる小高い丘にある介護老人福祉施設「松風」。広々とした館内からは、ときおり職員や利用者の笑い声が聞こえてきます。施設が目指しているのは「利用者様に『豊かな生活』を送っていただくこと」。シーティングに力を入れているのは、その目的を達するためだと、施設長の早川充大さんと言います。

施設内でシーティングを担当しているのは、理学療法士小林久徳さんですが、「日常的に利用者様と接しているのは介護スタッフ。こうした人たちの協力なしには、質の高いシーティングはできません」と早川さんは話します。そのため、小林さんを中心としながら、介護や看護のスタッフにもシーティング・プロジェクトに参画してもらい、取り組みを深めているそうです。

「代表的な取り組みとしては、新しく入居される利用者様に対して、あらかじめ体圧測定をさせていただいていることで

す」と小林さん。既存の利用者様についても、介護スタッフから「座り姿勢や臀部の状態が良くない」という報告を受けた場合に測定。クッションの変更や選定に役立てています。

小林さんはこうも言います。「SRソフトビジョンは、体のどの範囲がシートと接しているかを『面』で視覚的にとらえることができます。だから第三者に伝えやすいんです」。介護や看護のスタッフとともにシーティングに取り組む上で、欠かせない道具だと話します。





口頭ではイメージが伝わらない

SRソフトビジョンとの出会いは、株式会社シーティング研究所の木之瀬隆代表がきっかけ。松風の母体である社会福祉法人平成会で、グループ施設合同のシーティング研修会を2年前から実施しており、その講師を務める木之瀬理事長から導入を勧められたと言います。

「SRソフトビジョンを使い始めてから、スタッフの意識が変わりました」と小林さん。導入前は、小林さんが手で体圧を評価し、それをスタッフに口頭で伝えていました。しかし、言葉で説明するだけでは、どこにどう体圧がかかっているのか、なかなかイメージしてもらえなかったそうです。「でも、SRソフトビジョンで色や数値を見てもらうことで、『座り方によってこんなに圧力のかかり方が違うんだ』と納得してもらえるようになりました」

スタッフだけでなく、ご家族の理解も得られるようになったとか。「入居時の体圧測定で高い数値が出た場合、これまで使っていたクッションから、別のクッションに変えるなどの対応が必要なのですが、クッションの購入費用は利用者様やご家族の負担。すぐに買い替えできないことがあります。そんなとき、従来のクッションと、こちらが提案するクッションの両方で体圧を測定し、画像をプリントして比較すると、クッション交換のピフォア・アフターを一目で分かっていただけます」。

画像を見ただけでクッション交換を理解してくれるご家族や、自分の体圧も測定してほしいと言うご家族もいるそうです。

多職種連携が進み 自然な流れで加算を導入

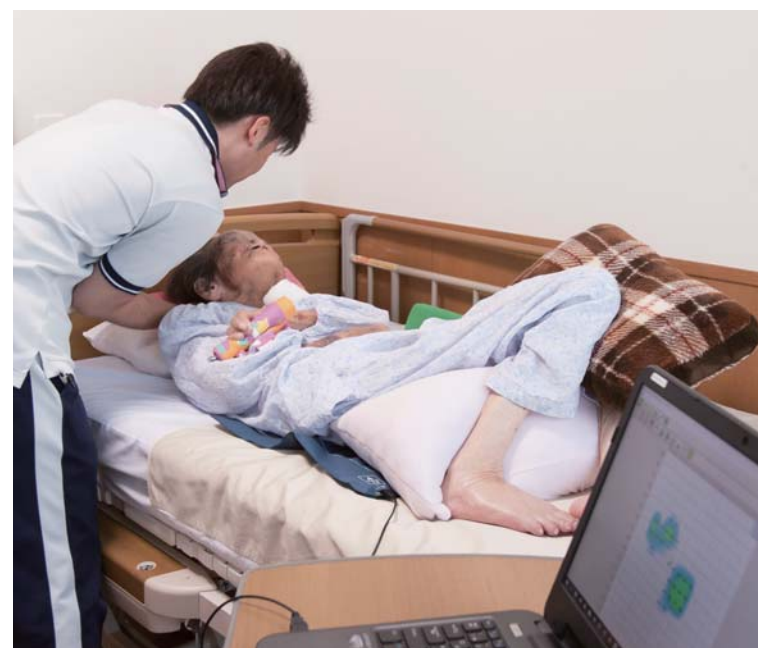
筋緊張が高く、ベッド上で過ごすことの多い利用者様が「どうしたら安楽に眠れるか」を検討する際、SRソフトビジョンを利用し、ポジショニングによって接地面積を増やす取り組みも始めています。

また、車いすに長く安楽に座ってもらえるようシーティングを行った結果、他の利用者様と接する機会が多くなり、もう少しで会話ができるまでに改善したケースもあると言います。

小林さんは「理学療法士のデータによる体圧分析だけでなく、介護スタッフによる現場の視点も交えて検討を行ったことが、成果につながったと思います」とうれしそうに話します。

松風ではいま、2018年度から始まった「褥瘡マネジメント加算」の算定に向けた準備を進めています。新たな書類作業が発生するため、スタッフにとってはひと手間になるものの、加算を取り入れることは施設にとって自然な流れだと、備前洋子事務長補佐は言います。

「私たちが実現したいのは、加算を取るのではなく、適切なポジショニングやシーティングにより、入居者の皆さんにより良い介護を提供すること。加算はあとからついてくるものだと思っています」



食事を自力摂取する時間が伸びた

松風は開設当初から、「こだわりの食事」を特徴にしています。新鮮な地元食材を使ったおいしいメニューづくりに力を入れていますが、どんなにおいしい食事でも、それを食べられなければ意味がありません。

「食べるには、顔を上げ、飲み込みやすい姿勢を作ることが必要です。食べている間ずっと座り続けられることも重要。こうした姿勢をつくるのにシーティングは不可欠です。スタッフが職種を超えてシーティングを意識することが、私たちの思いを実現することにつながると考えています」(早川さん)

体圧測定やシーティングに取り組み始めて、食事を自力摂取できる時間が伸びたケースもあると小林さん。「円背が強くと、食事のときにどうしても下向きになってしまう方がいらっしやいました。介護スタッフといっしょに、体圧を測定しながらクッションと車いすの組み合わせを試した結果、エアタイプのクッションと小さめの車いすが、体に負荷がかからない組み合わせであることが分かりました。背中形状に合うよう背張りも調整。すると、足がしっかり床に着くようになり、顎が上がって食べこぼしが減ったんです。自力で食事ができる時間も長くなりました」。

多施設に広がるシーティングの輪

平成会では年4回、グループ施設の担当者が集まって事例を検討する「シーティングチーム研修会」を開いています。「ほかの施設の成功事例を聞けるので、取り組みのアイデアや視点が広がります」と小林さん。また、平成会常務理事早出さんは、法人全体で所有する5台のSRソフトビジョンを活用し、今後は、通所サービスの利用者様など在宅の方へもシーティングを広げていきたいと意気込みます。

「もしSRソフトビジョンがなかったら、利用者様の姿勢をきちんと評価することができなかつたし、褥瘡マネジメント加算を導入しようという動機も生まれなかつたと思います。シーティングの評価は、これからますます重視される流れになると思いますよ」



「体圧測定」に関連する制度等のご紹介

【医療保険】シーティングが疾患別リハビリ料として算定可能に

2017年7月、厚生労働省から公表された診療報酬疑義解釈資料で、「シーティングが疾患別リハビリの診療報酬に算定可能」という解釈が明確に示されました。

【疾患別リハビリテーション料】

(問4) いわゆる「シーティング」として、理学療法士等が、車椅子や座位保持装置上の適切な姿勢保持や褥瘡予防のため、患者の**体幹機能や座位保持機能を評価した上で体圧分散やサポートのためのクッションや付属品の選定や調整**を行った場合に、疾患別リハビリテーション料の算定が可能か。

(答) 算定可能。この場合の「シーティング」とは、車椅子上での姿勢保持が困難なため、食事摂取等の日常生活動作の能力の低下をきたした患者に対し、理学療法士等が、車椅子や座位保持装置上の適切な姿勢保持や褥瘡予防のため、患者の体幹機能や座位保持機能を評価した上で体圧分散やサポートのためのクッションや付属品の選定や調整を行うことをいい、単なる離床目的で車椅子上での座位をとらせる場合は該当しない。

引用：厚生労働省保健局医療課
疑義解釈通知 平成29年7月28日

従来、病院でのシーティングは診療時間外で行うことも多かったのですが、上記の疑義解釈により、リハビリスタッフが診療時間内でのシーティングを実践しやすくなりました。

算定に際しては、適切な評価や選定が必要となるため、体圧や面圧中心を可視化、記録できるSRソフトビジョンが役立ちます。

【介護保険】介護老人福祉施設、介護老人保健施設における褥瘡マネジメント加算の新設

2018年3月、厚生労働省から公表された告示により、褥瘡の発生予防のための管理に対する評価として、「褥瘡マネジメント加算(10単位/月)」が新設されました ※3ヶ月に1回を限度とする

特別養護老人ホーム等の入所者の褥瘡(床ずれ)発生を予防するため、**褥瘡の発生と関連の強い項目について、定期的な評価**を実施し、その結果に基づき計画的に管理することに対し新たな評価を設ける。

① 入所者全員に対する要件

入所者ごとの褥瘡の発生に係るリスクについて、「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」において明らかになったモニタリング指標を用いて、施設入所時に評価するとともに、少なくとも3月に1回、評価を行い、その評価結果を提出すること

② ①の評価の結果、褥瘡の発生に係るリスクがあるとされた入所者に対する要件

- 関連職種者が共同して、入所者ごとに褥瘡管理に関する褥瘡ケア計画を作成すること
- 褥瘡ケア計画に基づき、入所者ごとに褥瘡管理を実施すること
- ①の評価に基づき、少なくとも3月に1回、褥瘡ケア計画を見直すこと

引用：厚生労働省ホームページ
平成30年度介護報酬改定の主な事項について
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000196991.pdf>

介護施設での褥瘡予防を進展させるため、新設された褥瘡マネジメント加算。体圧測定は褥瘡予防の基本であり、定期的な評価が必要です。

SRソフトビジョンは、色と数字(分布版2を除く)で体圧をビジュアル化する為、リハビリ、看護、介護などの多職種連携をスムーズに進められます。

【理学療法士】体圧計測装置が養成施設に備えるべき備品等に追加

厚生労働省で開催されてきた「理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会」の報告書が、2017年12月25日に発表され、教育に使う機械器具として体圧計測装置(全身臥床用、座位用 各1)が新たに追加されました(今回の報告書を受けて、関係法令等の改正が行われる予定)

機械器具 [理学療法士養成施設]

別添5

品名	数量	備考
解剖用具一式	2人で1	
人体解剖用視聴覚教材一式	1	骨、神経筋、その他主要臓器の組織を含む各種(自動測定を含む)
血圧計	2人で1	
装具・スプリント及び各部品	各種1	教育に必要なものを揃える
体圧計測装置	2	全身臥床用、座位用各1
ポジショニング用クッション一式	1	
座位保持装置一式	1	
装具・スプリント等製作用具一式	10人で1	
作業台	10人で1	
視聴覚教材各種	各1	
パーソナルコンピュータ	4人で1	

(注)各機械器具は教育に支障がない限り、1学級相当分揃え、これを学級間で共用することができる。

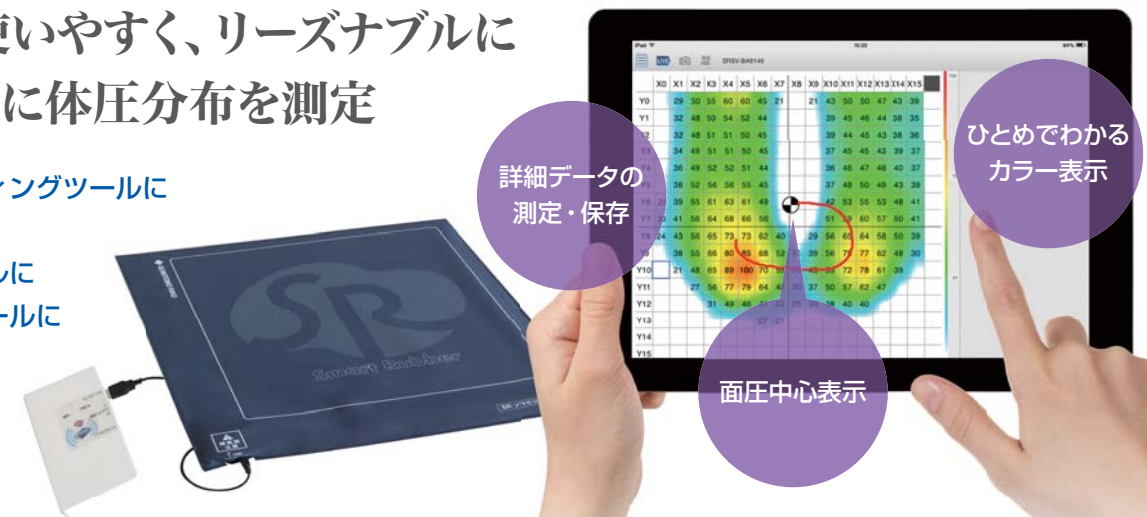
シーティングの診療報酬算定可能などが追い風になり、体圧計測装置が理学療法士養成施設の備えるべき備品に追加されました。これにより、今後はシーティングやポジショニングにおいて体圧測定の重要性を理解した理学療法士が現場で活躍することとなります。SRソフトビジョンは、直観的な操作が可能で、学生の皆さんにも使いやすい体圧計測装置です。

引用：厚生労働省ホームページ
理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会報告書 平成29年12月25日
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000193257.html>



やさしく、使いやすく、リーズナブルに 誰でも手軽に体圧分布を測定

- 車イスのシーティングツールに
- 寝たきりの方の床ずれ防止ツールに
- リハビリ支援ツールに



詳細データの測定・保存

ひとめでわかるカラー表示

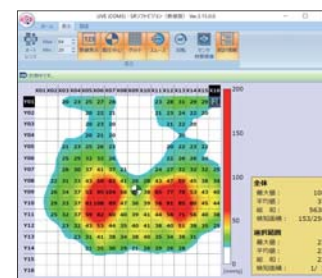
面圧中心表示

数値版 数値データによる測定可能

256(16×16)箇所の圧力を数値で表示。数値データによるデータ解析が可能。

付属品 センサー1枚
USBケーブル1本
取り扱い説明書

メーカー希望小売価格(税別)
378,350円

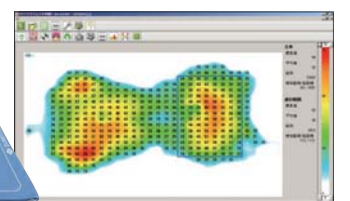
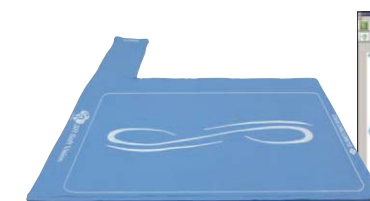


半身版 肩から腰までの計測が可能

全身版に比べて小さく、重さも半分なので、持ち運びが容易です。

付属品 センサー1枚
USBケーブル1本
取り扱い説明書
キャリーバッグ

メーカー希望小売価格(税別)
658,800円



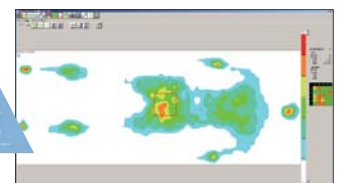
全身版 頭から足先まで、全身の圧力分布を可視化

圧力分布状態が誰でもひと目でわかるほか、圧力の大きさを数値で確認できます。

付属品 センサー1枚
USBケーブル1本
取り扱い説明書
キャリーバッグ

メーカー希望小売価格(税別)
885,500円

※Webカメラは、付属しておりません。

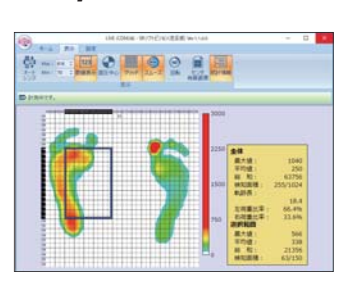


足圧版 立位における足圧分布表示が可能

左右荷重比率、面圧中心の移動軌跡長計測が可能。

付属品 センサー1枚
USBケーブル1本
取り扱い説明書

メーカー希望小売価格(税別)
540,000円



さらに詳しくは・・・ [ホームページへアクセス](#)

SRソフトビジョン

検索